

平成三十年度第一学期 始業式 校長挨拶

牧野高校の新・三年生、新・二年生の皆さん、お早うございます。
四週間ほど前に行われた昨年度三学期の終業式では、春は別れと出会いの季節というお話をしました。併せて、春こそ、新しいことに挑戦する最高の季節というお話をしました。皆さんは、その時からひとつずつ学年が上がりましたが、何か新しいことを始めてみましたか？
何か新しいことへの挑戦、チャレンジをしようとしていますか？

皆さんに進めた手前、校長も何か新たに始めようと思い、この四月から、NHKラジオ放送で新たに始まった「高校生からはじめる現代英語」という番組と、十年前にも聴いていた「実践ビジネス英語」という番組等を聴き始めました。それぞれ十五分の短い時間ですが、内容がとても新鮮で良い気分転換になっています。英語でいろいろな人とコミュニケーションすることは、とても楽しいことだし、これから、世界の人々と仕事をするようになる皆さんにとっては、絶対必要なことです。皆さんも、ラジオ英語を聴き始めてみませんか。お薦めです。

さて、三年生の皆さんは、いよいよ高校生活の総仕上げですね。五月三十日には最後の体育祭が、九月の八日と九日には最後の文化祭が予定されています。部活も、高校での集大成となる、それぞれの大会が待っています。自分の目標に向けて努力し、最後までやり抜く力や、他人の気持ちが分かる、チームワークを大事にする、また自分で立ち直る回復力などは、非認知能力と言いますが、学力と並んで、皆さんが社会に出て役割を与えられ成功するためには、とても大切な能力です。これらの力は、部活動や生徒会活動、学校行事などに真剣に取り組むことで身に付くと言われています。三年生も、最後まで高校生活を充実させて、非認知能力を高めてほしいと思います。
一方、大学進学を目指す皆にとって、受験準備がもう待ったなしです。皆さんが十年後、二十年後に、社会で活躍するために、基本になるもう一つの力は、やはり学力です。受験勉強は大きな関門ですが、悔いのない結果を出すために、この一年を、必死に頑張る年、そういう年にしてほしいと思います。

二年生の皆さん、高校生活が充実したかどうかは、二年生の一年間をどう過ごすかで大きく変わります。特に、ここで勉強の中だるみがあると、取り返しがつかなくなります。二年生の時の時間の使い方、オンとオフの切り替え、勉強時間をきちんと確保して規則正しい生活をするのがとても大事です。

先ほど、私が四月から英語の勉強を再開したお話をしましたが、十年程前に、ローランドという会社で語を使って仕事をしていたころ、毎日手帳に、英語で気に入ったフレーズを、五つずつ書いていました。久しぶりにその手帳を取り出してみたら、丁度、今の皆さんに伝えたいと思うフレーズがありました。その一つが、“Nothing is written.”です。これは、もう五十年以上も前に創られた映画「アラビアのロレンス」で、主人公のロレンスが語るフレーズです。夜間の砂漠の移動で、部下の一人がラクダから落ち、砂漠に置き去りにされてことがわかる。助けに行こうとするロレンスを、他の部下たちは「引き返せば死ぬ」「彼の運命だ」と押しとどめて、“It is written.”「これは定めだ」という。それ対し、ロレンスは一人でその部下の救済に向かい助け出す。その時に言うのが、「人生決まってしまうことなど何もない」「この世に運命などない」という意味の“Nothing is written.”です。このことで、部下の信頼を勝ち取り、ロレンスは自分の所期の目的を実現します。

三年生の皆さんに、特に伝えたいのは、もうこれまでと早い段階で諦めたり、安易に妥協して目標を下げたりせずに、最後まで頑張り切るということです。一人ひとり、夢の実現に向けて諦めず努力してください。可能性は無限です。

もう一つのフレーズが“Seize the day.”です。これは三十年ほど前に創られたアメリカの高校を舞台にした映画「今を生きる」で、英語の先生である主人公が生徒に語るフレーズです。“Carpe diem. Seize the day, boys. Make your lives extraordinary.”「今を生きろ！ 今日という日を大事に！ 自分の人生を素晴らしいものにしろ！」そんな意味です。人は、過去に捉われ、未来に憧れて、今を忘れがちです。でも大事なものは、今、この瞬間、今日、何をするかです。時間は、お金がいくらあっても買えるものではなく、全ての人に平等です。時間を有効に生かしている人は沢山います。大事なものは、オンオフの切り替え、そして集中力です。三年生は、進路決定までに時間が限られているので、特に集中力を発揮して勉強してほしいと思います。二年生は中だるみにならずに、一日平均で二時間くらいは家庭で学習をする習慣を持続してほしいと思います。授業中は『一発勝負』のつもりで、その場で必ず理解するように全力を注ぐ。解らないことは、その場で先生に質問をする。時間を無駄に使わないために、授業中は内容を理解することに専念し、暗記するときは暗記をきちんとして、休むと決めたら休む。授業中に居眠りしたり、内職したりしていたら、結局、後で穴埋めしなければいけないことになり、意味がありません。一生懸命やれば知恵が出る、中途半端にやれば愚痴が出る、いい加減にやれば言い訳ばかり出る言葉があります。勉強も、部活や生徒会、学校行事についても、真剣に取り組んで、充実した一年にして行きましょう。

さて、今日の午後には、牧野高校の第四十三期生として、皆さんの後輩になる一年生を迎えます。四月一日付で先生方も交替があり、牧野高校に新たに全部で十九人の先生方が来られています。

フレッシュな一年生、フレッシュな先生方を迎えて、皆で一緒に、牧野高校を盛り上げていきましょう。

新年度の始まりに当たり、皆さんの新たな挑戦と成長を心から願って、一学期始業式の挨拶とします。

平成三十年四月九日

大阪府立牧野高等学校 校長 日 笠 賢